

感染症発生状況

平成30年9月12日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年9月3日（月）～9月7日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 459名

1日あたりの延べ欠席者数 91名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数91名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（262名）**、咳・鼻水（50名）、下痢・腹痛（35名）嘔気・嘔吐（15名）

疾病ごと **気管支炎・肺炎（32名）**、手足口病（20名）、リンゴ病（20名）、ヘルパンギーナ（15名）

夏流行の疾患（ヘルパンギーナ）と、秋から流行する疾患（RSウイルス感染症）が混在しています。溶連菌感染症、とびひ、手足口病が見られます。少し寒さが加わりましたので、感染症が流行する可能性があります。

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎 河北地域で減少。盛南，河南，都南地域で増加しました。

手足口病 厨川，河北，盛南，都南地域で増加しました。

リンゴ病 河北地域で減少。厨川，都南地域で増加しました。

ヘルパンギーナ 厨川，盛南地域で減少。河南，都南地域で増加しました。

【県の状況（8/27～9/2）】

手足口病は県央地区で2週続けて警報値（定点あたり患者数5人）を超えました。咳やくしゃみなどの飛沫，水疱内容物，便中に排出されたウイルスから感染します。予防には，患者との濃厚接触を避け，十分な手洗いや排泄物の適切な処理を行うことが重要です。まれに髄膜炎や脳炎などを併発する場合がありますので，頭痛，嘔吐，高熱が続く場合は医療機関の受診が勧められます。

ヘルパンギーナは，県央地区など多くの地区で増加しました。主な症状は38℃以上の突然の発熱と喉の痛み，口内に現れる小さな水疱性の発疹です。手足口病と同じエンテロウイルス属による感染症で，同様の対策が重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】